

表3 海外における導入天敵の生態学的影響事例

| 導入生物名 (原産国) | 防除対象生物 | 導入国 (導入年) | 有害な生態学的影響等 |
|---|---|---------------------------|---|
| グンバイムシ <i>Teleonemia scrupulosa</i> (メキシコ) | ランタナ (<i>Lantana camara</i>) | ウガンダ | 後年栽培されるようになったゴマ (<i>Sesamum indicum</i>) を食害．長期的な被害はない |
| cactus moth <i>Cactoblstis cactorum</i> | ウチワサボテン (<i>Opuntia</i> spp.) | 西インド諸島 (1957年) | 自力で北方に移動し，米国フロリダ州に侵入．絶滅危惧種を含む米国土着の <i>Opuntia</i> 種を攻撃 |
| 寄生蜂の一種 <i>Quaylea whittieri</i> | カイガラムシの一種 (black scale) | 米国 カリフォルニア州 | 既存の導入天敵 <i>Metaphycus lounsburyi</i> にも寄生． <i>M. lounsbury</i> の有効性が低下 |
| アブラバチの一種 <i>Trioxys pallidus</i> (イラン) | アブラムシの一種 (<i>Chromaphis juglandicola</i>) | 米国 カリフォルニア州 | 防除の成功後，別のアブラムシ <i>Callaphis juglandis</i> が害虫として登場 |
| ヤドリバエの一種 <i>Bessa remota</i> (マレーシア) | coconut moth (<i>Levuana iridescens</i>) | フィジー (1925年) | 防除対象のガは1940年代には絶滅に近い状態になった．防除対象外のマダラガの一種 <i>Heteropan dolens</i> が絶滅 |
| ヤドリバエの一種 <i>Trichopida pilipes</i> および タマゴクロバチの一種 <i>Trissolcus basalis</i> | ミナミアオカメムシ (<i>Nezara viridula</i>) | 米国 ハワイ州 (1962年) | 土着のカメムシ <i>Coleotichus</i> および <i>Oeochalia</i> が急激に減少．外来のカメムシ <i>Murgantia histrionica</i> とその寄生者である <i>Trissolcus murgantiae</i> も，導入種の増加に伴い姿を消した． <i>Oeochalia</i> の減少原因が導入天敵かどうかは不明．一方， <i>Coleotichus</i> は代替寄主になりうる |
| ヤドリバエの一種 <i>Lespesia archippivora</i> | ヨトウムシ | 米国 ハワイ州 | 導入種により16種の昆虫が絶滅したとする研究者あり．別の研究者は攻撃を受けたのは芝生等の害虫のヤガの一種 (<i>Agrotis crinigera</i>) のみとしているが，彼も導入種が10種の土着の鱗翅目を攻撃したことを記録 |
| ナナホシテントウムシ <i>Coccinella septempunctata</i> | アブラムシ | 米国 (1958年) | 1973年に米国での定着を確認．クホシテントウ (<i>C. nobemnotata</i>) 等の土着種を駆逐し，これに置き変わっている可能性がある |
| ナミテントウ <i>Harmonia axyridis</i> | アブラムシ | 米国 カリフォルニア州 ワシントン州等 | 未放飼のオレゴン州で定着．1993年～1994年にはオレゴン州で大発生し，樹木上の全テントウムシ類の70%を占めた |
| ツマアカオオテントウ <i>Cryptolaemus montrouzieri</i> | コナカイガラムシ | 南アフリカ モーリシャス | ウチワサボテン (<i>Opuntia</i> spp.) の防除のために導入されたコチニールカイガラ (<i>Dactylopius</i> spp.) を捕食し効果を低下させている |
| ハムシの一種 <i>Chrysolina quadrigemina</i> (ヨーロッパ) | 毒性をもつオトギリソウの一種 (<i>Hypericum perforatum</i>) | 米国 カリフォルニア州 | 雑草防除後，別の侵入雑草であるヤグルマソウの一種 (<i>Centaurea maculosa</i>) が優占．また導入種に，主要な寄主でないヨーロッパ産の鑑賞用植物 <i>H. calycinum</i> で生存可能な系統が発生 |
| ゾウムシの一種 <i>Rhinocyllus conicus</i> (ヨーロッパ) | 雑草性のアザミ | 北米 | カリフォルニア州の土着アザミ (<i>Cirsium</i>) で増殖．この属のアザミのうちの3種は希少種．防除対象生物により天敵の個体数が高く維持されている場合，防除対象外の希少土着種に有害影響を生じる可能性あり |